

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年4月8日

【四半期会計期間】 第33期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

【会社名】 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

【英訳名】 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 菊地 哲

【本店の所在の場所】 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号

【電話番号】 (03)6203-5000(代表)

【事務連絡者氏名】 主計部長 矢板 邦彦

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号

【電話番号】 (03)6203-5000(代表)

【事務連絡者氏名】 主計部長 矢板 邦彦

【縦覧に供する場所】 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 大阪支店
(大阪市北区梅田三丁目1番3号)

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 名古屋支店
(名古屋市中区錦一丁目5番11号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年8月11日に提出いたしました第33期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

注記事項

セグメント情報等

セグメント情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

<前略>

セグメントの概況につきましては、ソリューションビジネスセグメントはエンタープライズシステム事業グループや金融システム事業グループで収益が増加し、売上高は54,662百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は2,984百万円（同53.9%増）となりました。サービスビジネスセグメントは保守・運用サービス事業グループや連結子会社において収益が増加し、売上高は12,681百万円（同4.6%増）、営業利益は2,822百万円（同22.6%増）となりました。

（注）上記セグメントの売上高及び営業利益には、当社グループ内取引において生じた金額を含んでおります。

(訂正後)

<前略>

セグメントの概況につきましては、ソリューションビジネスセグメントはエンタープライズシステム事業グループや金融システム事業グループで収益が増加し、売上高は54,668百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は2,984百万円（同53.9%増）となりました。サービスビジネスセグメントは連結子会社において収益が増加し、売上高は21,258百万円（同1.7%増）、営業利益は2,822百万円（同22.6%増）となりました。

（注）上記セグメントの売上高及び営業利益には、当社グループ内取引において生じた金額を含んでおります。

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,679	2,606	56,286		56,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	<u>126</u>	<u>9,521</u>	<u>9,647</u>	<u>9,647</u>	
計	<u>53,805</u>	<u>12,128</u>	<u>65,934</u>	<u>9,647</u>	56,286
セグメント利益	1,939	2,301	4,241	3,840	400

(注) 1. セグメント利益の調整額 3,840百万円には、主に全社費用 4,170百万円、セグメント間取引消去370百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,679	2,606	56,286		56,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	<u>116</u>	<u>18,303</u>	<u>18,420</u>	<u>18,420</u>	
計	<u>53,796</u>	<u>20,910</u>	<u>74,706</u>	<u>18,420</u>	56,286
セグメント利益	1,939	2,301	4,241	3,840	400

(注) 1. セグメント利益の調整額 3,840百万円には、主に全社費用 4,170百万円、セグメント間取引消去370百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,482	2,604	57,086		57,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	179	10,077	10,256	10,256	
計	54,662	12,681	67,343	10,256	57,086
セグメント利益	2,984	2,822	5,806	3,829	1,977

- (注) 1. セグメント利益の調整額 3,829百万円には、主に全社費用 4,157百万円、セグメント間取引消去362百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,482	2,604	57,086		57,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	185	18,654	18,840	18,840	
計	54,668	21,258	75,927	18,840	57,086
セグメント利益	2,984	2,822	5,806	3,829	1,977

- (注) 1. セグメント利益の調整額 3,829百万円には、主に全社費用 4,157百万円、セグメント間取引消去362百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。